

○米田貴志委員長

ただいまから庁舎建設特別委員会を開会いたします。

理事者より報告の申出がありますので、発言を許します。

○谷口英樹総務部長

岸和田市新庁舎整備事業設計施工業務公募型プロポーザルにつきまして、昨日9月24日付で中止いたしましたので、その経緯について報告させていただきます。

まず、本件プロポーザルは、実施要領に従いまして本年8月1日に公告いたしました。

続いて、参加するに当たっての質問の受付として、第1回目の質疑を8月13日から8月22日にかけて受付を行いました。第1回の質疑につきましては、9月1日付でホームページにて回答しております。

その後、参加表明等を9月8日から9月19日まで受付を行いましたが、受付期間内に参加表明が一者もなかったことから、受付締切り後にプロポーザル中止の内部決裁を取りまして、9月24日付でホームページにて中止を公表したところでございます。

今後につきましては、今回の事業に興味を示してくれていた事業者に対しまして任意でヒアリングを行い、不参加の理由等も伺いながら、今後の事業の進め方について方針を検討してまいります。

○米田貴志委員長

報告が終わりました。

質問のある方は順次発言願います。

○井舎英生委員

委員の井舎です。二、三点質問します。

先ほどの部長の説明で、何件質疑があったんですか。

○西田淳一庁舎建設準備課長

質疑に関しましては2点ございました。

○井舎英生委員

2点というのは、2者という意味ですか。

○西田淳一庁舎建設準備課長

1者であります。

○井舎英生委員

1者から2点質問があったということですね。それは応募に関する質問なんですか。

○西田淳一庁舎建設準備課長

事業者と確認させていただきまして、応募に関するものに関して質疑、回答させていただいたところでございます。

○井舎英生委員

今回の設計施工分離発注方式というのは、今から遡ること4年前かな、令和2年12月から令和3年1月にかけて、その当時、名刺事件というのがあったんですけれども、それから現在まで庁舎建設の日程がいろいろ遅れているんですけども、これについては何か。これについてというのは、遅れていることについて。

○米田貴志委員長

井舎委員、今回のプロポーザル中止についての質問でお願いいたします。

○井舎英生委員

プロポーザルが中止になったということは、この8月から9月にかけてのプロポーザルの募集が無駄になったということなんですけれども、これについては、市はどういう見解なのか、反省点がありますか。

○米田貴志委員長

井舎委員、今回のことを受けて市としてどう捉えているか、こういう視点でいいですか。

○井舎英生委員

はい。

○藤浪秀樹副市長

プロポーザルをさせていただいたんですけども、応募していただける者がなかったということで非常に残念に思っております。

ます。市としましては、一刻も早く庁舎を建設させていただいて、災害に備えて準備したいと思っていますので、引き続き原因といいますか調査研究させていただいて、一日も早く建設できるように努めていきたいというふうに考えてございます。

○井舎英生委員

無難な回答なんですけど、岸和田市庁舎建替庁内検討委員会というのがありますよね。部長が集まって検討委員会があった上で、担当課、庁舎建設準備課は8月付けでプロポーザルを設計施工一括発注方式で出したという、これがよかったのかどうか。結果的に悪かったんですけども、この辺についての反省点というのは、部長はありますか。

○谷口英樹総務部長

先ほども報告させていただきましたとおり、今後、何者かは興味を示していただいていた会社がありますので、その辺りにヒアリングさせていただいて、どの辺りに今回応募いただけなかった原因があるのかというふうなところも含めまして、今後検討してまいりたいと考えておるところでございます。

○井舎英生委員

再度ヒアリングして検討する、その検討の内容は何なんですか。

○谷口英樹総務部長

検討の内容は、いろいろ考えられます。ただ、我々もどこに原因があったのかなというふうなところもありますので、そこを聞いた上での検討かなというふうに思っておるところでございます。

○井舎英生委員

取りあえず今、質問はそんなところですよ。

○南加代子委員

今回の不成立というか、参加者が、希望者がなかったというのは非常に残念に思い

ます。検討に検討を重ねて、事業費も抑えてというところで来ましたので、行政としても何が原因やったかということは今後というところだと思うんですけども、やはり現時点で認識をお伺いしたいと思います。

価格設定また事業手法、設計の条件、提出書類の内容とか、複数の要因が絡んでいると考えているんですけども、特にどの点が大きかったというふうに見ておられる点はありますか。

○西田淳一庁舎建設準備課長

全てにおいて我々、万全を期して行ってきましたので、今の段階では分かりません。

○南加代子委員

分からへんというところは当然やと思いますが、やはり参加者がなかったという時点から、どのような方向で行くのかというところをお考えかと思いましたのでお尋ねいたしました。

本当に透明性を持って今回の庁舎の建設においてもしていかないといけないなと思いますし、前回、令和5年10月でしたか、参加者が途中で辞退されたこともございました。そのときの業者にもヒアリングされて今回の実施要領等にも結びついていると思うんですけども、先ほど部長からもヒアリング対象の事業者というところもありましたが、その選定基準というのはあるんですか。

○谷口英樹総務部長

ヒアリングさせていただくところというのは、先ほども申し上げましたとおり、我々のところに興味を持って来ていただいていた事業者がまず出発点になろうかなと思っております。その上で、その辺りで営業とか来られている事業者にとっても温度差がありますので、我々もその辺も含めまして、訪問いただいていたときの感触も含めてどのようなところに聞いていくかとい

うふうなところを考えてまいりたいと思っております。

○南加代子委員

参加者がなかったというところは、市民の皆さんにとってもこれは大きな事業でしたので、大変大きな関心事だと思います。行政としても、その理由とか今後の対応を市民の皆さんがしっかりと見ていますし、最も大切なことというのは、やはり透明性を保つべきだと思いますのでお尋ねいたしました。

あと、これからになると思いますけれども、緊急防災・減災事業債を使うというところもございました。それに伴う検証期間もあるかと思いますが、そのスケジュール感というのはまだ立っていませんか。

○西田淳一庁舎建設準備課長

緊急防災・減災事業債につきましては今年度だと思いますけれども、来年度以降延長するかどうか国がお決めになるということで、我々はそれを待つ以外にございません。

○南加代子委員

やはりこの点は、すごく財政的には大きなところだと思いますので、そこも併せてしっかりと検証していただきたいと思います。

費用を抑える工夫というのは当然求められると思いますが、社会背景を見たときには、万博、その後のＩＲ工事、そういうところを思うと、人的、労務的なところ、また費用面も非常に変わるのかなと思います。今後ＤＸ化が進んでいくということも踏まえた上で、しっかりヒアリング対象の事業者等々にも聞いていただいて、国の積算に基づいて今回も事業費用を出されたと思いますけど、民間事業と乖離がなかったのかどうか、そういう点もしっかりと検証していただいて、市民の皆さんに説明がつくと

いう、そういう検討であっていただきたいと思います。

○井舎英生委員

追加の質問をします。今、部長から、何者かにヒアリングするというお話がありました。今回の公募に関しましても、この委員会の場で、今度しますということも、事前に説明の場がなかった。すなわち委員会無視で公募したような感じだと思います。

○米田貴志委員長

井舎委員、今の発言は取り消していただきたいと思います。

○井舎英生委員

何ですか。

○米田貴志委員長

無視してやっているわけではありません。

○井舎英生委員

私はそう感じました。それで、そのヒアリングも、委員会が分からないところで、そういう内緒でヒアリングというのはちょっと問題があるかと思いますので、それは考え直していただきたいと思います。

○米田貴志委員長

意見としてとどめおいていただきたいというふうに私で判断させていただきます。

他にございませんか。

〔「なし」の声あり〕

ないようでございますので、理事者からの報告を終わらせていただきます。

最後に、次回の本特別委員会の日程などにつきましては、正副委員長に御一任いただきたいと思いますが、こちらに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

ないようですので、それでは、そのようにさせていただきます。

以上で庁舎建設特別委員会を閉会いたします。

(以 上)